

第8回 甲状腺検査評価部会 開催報告

- 1 日 時：平成29年11月30日（木） 13:30～15:45
- 2 場 所：コラッセふくしま 4階 多目的ホール
- 3 出席者：出席者名簿のとおり（3ページ）
- 4 部会長選出・副部会長指名について
部会長は互選により鈴木元部会員が選出された。
副部会長は吉田明部会員が部会長により指名された。
- 5 説明事項等（※当日の会議資料については、**参考資料2**を参照）
 - (1) 県民健康調査甲状腺検査の概要等について
県事務局より甲状腺検査の概要、甲状腺検査評価部会の開催経過、中間取りまとめについて説明した。
 - (2) 県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査2回目）】」の結果について
県立医科大学放射線医学県民健康管理センターより本格検査（検査2回目）の結果について説明した。
本格検査（検査2回目）の結果（平成29年6月30日現在）について、悪性ないし悪性疑い者の地位別割合を提示して説明した。
地域別割合を検討するための参考として、先行検査と本格検査の受診時期の検査間隔をもとに期間あたり発見率の調整を行ったものを一例として提示した。
 - (3) 県立医科大学での手術症例について
議題「その他」において、県立医科大学甲状腺内分泌センター長より、県民健康調査甲状腺検査にて悪性ないし悪性疑いと判定された事例のうち、平成28年3月31日までに医大で手術された症例125例の術式、腫瘍径、病理組織学的分類等について情報提供された。
- 6 部会員意見等
 - (1) 地域別割合の解析等について
地域別の状況に差があるかどうかを現時点で単純に比較することは困難であり、地域別の受診率、年齢、さらには細胞診実施状況などの様々な要因を調整した解析が必要であるとされた。
【主な意見等】
 - ・ 18歳以上の年齢層で受診率が下がる。本来は高い年齢層で発見率は高くなることから、地域別の年齢や受診率の違いも考慮する必要がある。
 - ・ 細胞診実施状況や悪性ないし悪性疑い者の平均腫瘍径での調整も必要ではないか。
 - ・ 放射線量と甲状腺がんのリスクについては、地域単位で交絡因子を調整するのではなく、個人単位のデータを使ったほうがいい。
 - ・ 放射線関連を議論するためには、放射線起因性を疫学的、病理学的にどう考えられてきたかの資料があった方がいい。

(2) 甲状腺がんの症例の把握・評価方法等について

部会員より県民健康調査甲状腺検査以外での診断症例の把握、がん登録事業の活用、県外転出者の把握等について意見が出された。

【主な意見等】

- ・ がん登録事業のデータを活用すべきではないか。
- ・ 甲状腺がんを将来にわたってどう把握していくのか。がん登録事業を活用するとしたら、どういうことが可能で、どうハードルがあるのか整理する必要がある。
- ・ 既に18歳以上の人は全国に散らばっている。低線量被ばくの場合は年数が経過してから甲状腺がんが出てくる可能性もあり、長期的に県外の情報を集める体制が必要ではないか。
- ・ 県民健康調査甲状腺検査の対象年代の子たちで、県の検査とは別に市町村独自で実施している検査の状況はどうか。
- ・ 甲状腺がんの罹患動向、成人の動向、小児がんの動向も勘案しながら解析したほうがいい。環境省研究班の結果等を参考にしながら分析することも重要ではないか。

(3) 手術症例等について

【主な意見等】

- ・ 県立医科大学で行われている手術は、甲状腺腫瘍診療ガイドラインに従い手術されているものと思う。
- ・ チェルノブイリでは充実型乳頭癌が一番多く、組織型からみると、チェルノブイリとはかなり異なると言える。

第8回 甲状腺検査評価部会 出席者名簿

平成29年11月30日

○部会員

50音順、敬称略

氏名	所属及び職名	出欠
阿美 弘文	一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院 外科主任部長 (一般社団法人福島県病院協会 推薦)	出席
片野田 耕太	国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計・総合解析研究部 部長	出席
加藤 良平	国立大学法人 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 人体病理学講座 教授 (一般社団法人日本病理学会 推薦)	出席
鈴木 元	国際医療福祉大学クリニック 院長 (一般社団法人日本放射線影響学会 推薦)	出席
祖父江 友孝	国立大学法人 大阪大学大学院 医学系研究科 社会環境医学講座 環境医学 教授 (一般社団法人日本疫学会 推薦)	出席
高野 徹	国立大学法人 大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌代謝内科学 講師 (日本甲状腺学会 推薦)	出席
南谷 幹史	帝京大学ちば総合医療センター 小児科学 病院教授 (一般社団法人日本小児内分泌学会 推薦)	出席
吉田 明	公益財団法人 神奈川県予防医学協会 婦人検診部 部長 (日本内分泌外科学会及び日本甲状腺外科学会 推薦)	出席